

冴木新監督を認めようとしな、荒くれ部員達。監督が、「女だと思って、なめてかかってくるのもいい！」といったのを良いことに、**本当にレロレロと舐め出す始末**（セクハラ）。ダジャレだけは一流のようだ。

舐められたのを口火に、いきなり新監督のキックがそいつ（名前：豪田、**愛称：ブル**）に炸裂！！ブルは**血を吹きながら見事に昏倒**してしまう。

それを見て、ブルの親友だった猫田（**愛称：ネコ**）が仇討ちとばかりに挑みにかかるが、**すでに半泣き**である。どうやらブルとは**ホモ達**のようだ。

しかし、すばしっこいネコのこと。新監督のハイキックを見事にかわし、着地する。

一連の刺し合いをみて、部員達も少し監督を見直したようだ。一時、休戦状態となる。

すると、監督から思わぬ提案がなされた。

監督「いちいち殴りっこするんじゃラチがあかねえ！**ラグビーでケリをつけようぜ！**」

うまく、**単なるケンカをラグビーの話にすりかえることに成功**した。こいつはセールスマンなり政治家なりになる才能があるかもしれない。

最初はそれを拒む部員達であったが、

監督「あたしがお前ら全員を相手にトライを決める！そしたら文句なくあたしが監督だっ！」

という破格の条件提示に心を動かされたか、その勝負を引き受けることになった。少し遠めから見ている校長も、

校長「バカな！いくらなんでもあいつら全員を相手にトライできるわけがなかろうが……」

と気を揉んでいる。

しかし、唯一マジメな ^{スクラムハーフ} S H の清水と、叶だけは参加を辞退する。清水は監督を認めているのが理由だが、**叶は相変わらず無言**である。さすがに意図が読めない。

ともかく、アマゾネス新監督 vs 荒くれ部員ほぼ全員のラグビーバトルが始まった。

新監督のキックオフから開始。いきなりハイキックを上げて、自分で球を取りに行く監督。

監督「ボールもってなくてもタックルしていいぜ！」とどこまでも強気だ。

そして、押し寄せる部員達を尻目に、ラグビーに限らないマルチな技を繰り出して、いとも簡単に彼らを退けながらゴールに迫っていく。

校長も「げっ！走り高跳びの背面跳び！今度は、体操の鉄棒！」と**技解説に余念がない**。

最後は俊足のネコに捕まり一度は転ぶものの、自称「**コマネチもまっツァオ！首はね起き！**」（校長「これは体操の床運動の技だ！！」）を繰り出して見事に立ち上がり、トライを決めてしまう。



たしかにまっツアオだ。

見事に勝負に勝った監督、「キャプテンを呼べ！」という。新監督就任の交渉を行いたいようだ。

ゆうべのケンカで強かった叶をキャプテンだと思い込み、居眠りしている叶のそばへよっていきが、どうやら見当違いだったらしい。

監督「悪たれどももボスは腕っぷしが強いやつと相場が決まってる。あの空手の腕前だし、てっきりお前さんがボスだと…」と弁護するが、てっきりしすぎである。

むしろその様子を見て、「俺達の中で叶が最強だっていうのかよ！」と息巻く、他の部員達。それを見て、

監督「だったら今からそれにケリをつけよう。バトルロワイヤルの要領で、主将を決めろ！！」と言い出した。メチャクチャである。

校長も「ケ、ケンカで主将を決めろじゃとお…」と困惑顔だ。

しかし、その言葉に乗せられ、見事にバトルロワイヤルを始めてしまう部員達。この新監督、本当に詐術に長けている。

激しく殴りあいを展開する彼らを尻目に、叶だけは「アホらしくて見ていられないんで…」と立ち去ろうとする。前から思っていたが、立ち去るのが上手な男だ。

しかし、

監督「今のお前のセリフは監督批判だ！許すわけにはいかねえ！さあ、かかってこい！」とファイティングポーズをとった。叶が相手にしなかった場合、完全に一人芝居になる気がするが、大丈夫だろうか。

すると、叶、見事に相手にしなかった。昨日助けてあげた女の子の日輪亜紀子ちゃんもラグビー部の様子を観に来ていたのだが、その子をナンパしはじめたのだ。でも、普通に立ち去ればよいと思うのだが、なぜこのタイミングでナンパなのかよくわからない。立ち去り名人の叶のことであるから、何か算段があったのかもしれない。

その様子に腹を立てた監督、跳びげりを叶に浴びせかける。間一髪でそれを避ける叶。険悪なムードだ。

すると、絶妙なタイミングで「こっちは片付いたぜ！」とバトルロワイヤルを勝ち残った真木・ブル・ネコの三人が呼びかけてきた。どうやらこの三人は裏で話を合わせていたらしい。

そして、真木が代表となって叶に襲いかかる。壮絶に叶に攻撃を加える真木。だが、叶はなぜか反撃をしない。監督もその様子をいぶかしがる。

しかし、トドメとばかりに真木が「キンタマぶつつぶしてやる〜〜っ！！」と殴りかかってきた刹那、ついに叶は起き上がり、ついに反撃に出た！

見開きクロスカウンター！！！！



あしたのジョーも‘まっツアオ’のクロスカウンターを決めて、真木を凄絶に KO した。

…これ、ラグビー漫画？「イエ〜〜〜ッ」って…。

ちなみに、このクロスプレーで叶の上着は破けている。真木の蹴りがカスったのだろうが、妙に芸が細かい描写だ。まあ、さすがの叶もキンタマをやられるのだけは我慢ならなかったようだ。

それを見て冴木監督、「叶！お前がキャプテンだ！」と喜ぶが、それも相手にしようとしないう。しかし、叶の意図を見抜いた監督「主将なんかやりたくないから、わざと負けようとしたんだろうが！！本当になりたくないんだったら、あのままキンタマつぶされてりゃよかったんだ！」とまたもや詭弁をふるい、叶を主将にしてしまう。

こうして**無事**に扶桑高校ラグビー部の主将が決定される運びとなった。

練習(?)後の校長室。校長と新監督が何か話をしている。

監督「スリにサギ、強盗、横領、器物損壊に公務執行妨害、恐喝、傷害、覚醒剤…やってねえのは殺人くらいじゃねえか！」と部員名簿をみて驚いている。いや、むしろ殺人して**なかったのか**。しかし、相当な悪たれどもである。

監督「こんなやつらがラグビーできるんかい！」と愚痴をこぼすが、

校長「できるもできないも、あんたが監督だ。あいつらにラグビーをやらせるのが監督の仕事だ！」と**責任転嫁**した。この間まで校長が監督だったのに。

しかし、**叶のところだけが空欄**である。当然疑問を口にする監督だが、校長はどうしても口を割ろうとしない。結局、叶のもつ真相はわからないままであった。

…殺人じゃないの？

場面変わって、教室。悪たれ部員達が集まって、なにやら不穏な会話をしている。主将になってしまった叶と、新監督に不満を募らせているようだ。

ネコ「どうする、あのアマゾネス!？」

真木「決まってるじゃねえか…あんな女はへたな男より始末が悪いからな！」

その頃、叶は一人寂しく**公園のブランコ**に揺られていた。そこへ野良犬がやってくる。最初はスナックをあげて優しくしていた叶だが、もうあげるものがないのになつてくる野良犬をついに**蹴っ飛ばした**。ひどい漢だ。

しかし、叶「おれだって…、お前と同じなんだよ…」と感傷に浸っている。

その様子をたまたま見ていた日輪ちゃん、犬を慰めながら「やっぱりあいつは最低ね」と不平を漏らす、**「でもなんだかとっても寂しそだったみたい…」**とフォローも忘れない。なんだか、青春である。

日輪ちゃんは塾からの帰り道だったようだ。犬を連れて家路に戻ると、なんとバイクに乗った新監督に出くわす。

そこでなにをトチ狂ったか、

日輪ちゃん「先生は世界中のスポーツを体験旅行したんですよね！じゃあ私に英語を教えてください！」と無理な注文。

監督「あたしは体育担当なんだぜ！英語は英語担当の先生がいるだろ！」

と、**至極真つ当な回答**。日輪ちゃんは、だいたいなんのために塾に通っているのか。

監督「勉強もいいが、たまには体を動かさな！」と言いつつ、監督は去る。

カッコよくバイクを飛ばす監督だが、なんと路上に板に釘を逆さに立てて剣山のようにしたものが置かれていた！当然のように派手に転倒し、土手に転げ落ちる監督。よく死ななかつたものだ。

そこへ、怪しい人影が数名。「昨日の暴走族か・・・！？」

またもや荒れ模様である。

しかし、怪しい人影といっても、怪しすぎる。



これらのお面をチョイスしたセンスは尋常ではなかろう。